

【NOMA行政管理講座(大阪)開催のご案内】

土木技術担当者のための

土木工事技術検査の具体的な進め方

- 適正化法に関する国土交通省通達
- 契約履行の確保と検査職員の責任

- 契約約款と共通仕様書との関わり
- 技術検査の進め方及び書面による検査

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の事業活動には、平素より格別なご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、現在、地方自治体の工事検査には組織体制や技術者不足など様々な問題点が山積しております。公共工事の検査は、対価支払いの前提となる極めて重要な行為であり、特に検査職員の職務及び権限（一例 検査の可否の判定は合議制、原則として受注者・監督職員の指導する権限はない、監督職員が指示・承諾した事項については指摘できない、設計に不備があっても受注者に改善命令は出せない等）、工事の品質確保や契約の適正化、安全の面から厳格な執行を期する必要があります。そのような重要な職務に就かれるご担当者のために標記講座を開催いたします。

時節柄ご多忙の折とは存じますが、この機会に是非関係各位のご参加をご検討いただきますようおすすめ申し上げます。

敬 具

記

日 時： 2019年10月24日(木) 13:00～17:00
10月25日(金) 9:30～16:00

会 場： 本会専用教室（大阪市西区靱本町1-8-4）
大阪科学技術センタービル内）

講 師： 一般社団法人日本経営協会講師
元・建設省関東地方建設局営繕部
工務検査課課長 補佐 山口 義 夫 氏

参 加 料： (負担金)	本会会員(1名)	一 般(1名)
参 加 料	29,000円	32,000円

※参加料には、別途消費税がかかります。

※銀行振込の手数料は貴団体にてご負担ください。

申込方法： 裏面の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送またはファクシミリ送信にて、下記へお申込みください。折り返し参加券と振込銀行・口座名を記載した請求書を連絡ご担当者宛にお送り致します。（参加申込は参加券の発送にて確認させていただきます。不着の場合は必ず前日までに電話でご確認ください。）

- なお、参加料は開催日までにご納入賜りますようお願い致します。
- ・電話予約も受付けます。（この場合では後から申込書をご送付ください。）
- ・領収書は「振込金受領書」をもって代えさせていただきますのでご了承ください。
- ・参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。
- ・お納めいただいた参加料は、原則として返却いたしかねますので、参加申込の方がご都合の悪い場合は、代理の方にご出席いただきますようお願い致します。

キャンセル： 開催日の3営業日前～前日のキャンセルは受講料30%、開催当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡なくご欠席の場合でも、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

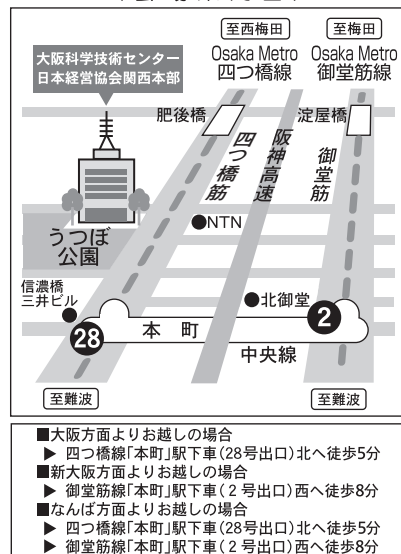
ご 宿 泊： ご参考までに会場周辺のホテルを下記のとおりご案内申し上げますので、必要な場合は直接ホテルへお早めにお申込(予約)ください。（※本会では宿泊手配(予約)はいたしておりません。）※宿泊料は変更になる場合がございます。

ホ テ ル 名	宿 泊 料 (シ ン グ ル)	交 通	ホテル電話
リーガ中之島イン	9,000円(税・サ込)日本経営協会優待料金	会場より徒歩10分	06-6447-1122
ハートンホテル西梅田	8,500円(税・サ込)日本経営協会優待料金	JR大阪駅より徒歩5分	06-6342-1111

お 申 込 み： 一般社団法人 日本経営協会 関西本部 企画研修グループ（担当：原）
お 問 合 せ 先

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階
TEL 06(6443)6962(直通) FAX 06(6441)4319 URL <https://www.noma.or.jp>
(※お問合せは、月～金曜日の9:15～17:15にお願い致します)

〈 会 場 案 内 図 〉



工事に関連する法令等及び質問&回答編

- I 公共工事入札及び契約の適正化の促進に関する法律等
- II 公共工事の品質確保の促進に関する法律等
- III 建設業法
- IV 労働法
- V 環境関連法令

監督・検査に関連する法令等の修得編

- I 監督・検査に関連する法令等の修得
 - 1 発注者及び受注者における建設業法令遵守ガイドライン
 - 2 地方公共団体に対する法的根拠
 - 3 政府契約の支払遅延防止に関する法律
 - 4 民法における期間の定めに関する規定
- II 契約履行の確保
 - 1 地方公共団体の締結する契約
 - 2 契約の締結方法
 - 3 契約書等
 - 4 契約書の作成と省略等
 - 5 契約の変更
 - 6 監督・検査制度の必要性
 - 7 監督・検査に関する法律による規定
 - 8 監督・検査の意義
 - 9 必要な監督・検査の意味
 - 10 検査とその種類
 - 11 検査の方法
 - 12 監督・検査の委託
 - 13 検査の事後処理
 - 14 監督職員の指示及び承諾
 - 15 検査職員と監督職員との関係
 - 16 検査の時期
 - 17 検査職員の責任と権限
 - 18 地方自治法による検査の可否の判定
- III 国土交通省における検査の体系
 - 1 会計法に基づく検査（工事検査）
 - 2 品格法に基づく技術的基準（技術検査）
- IV 工事請負契約約款と土木工事共通仕様書
 - 1 公共工事に関する標準請負契約約款
 - 2 契約約款と土木工事共通仕様書第1編共通編第1章総則の修得
 - 3 工事請負契約書の修得
 - 4 契約約款の解説と土木工事共通仕様書の修得

工事検査・技術検査及び契約内容の修得編

- I 工事検査及び技術検査
 - 1 はじめに
 - 2 公共工事に求められる品質
 - 3 品質管理とは
 - 4 用語
- II 工事検査及び技術検査の内容把握
 - 1 検査の種類と目的
 - 2 工事検査の目的と意義
 - 3 技術検査の目的と意義
 - 4 検査の役割と責任

- III 契約変更（条件変更・計画変更）の修得
 - 1 契約変更と契約同一性
 - 2 契約変更
 - 3 延長違約金と工期延期
- IV 契約約款の修得
 - 1 関連法令、工事標準請負契約約款及び土木工事共通仕様書の内容状況の修得
 - 2 契約図書の修得
- V 契約図書の内容の把握
 - 1 契約関係の内容の把握
 - 2 契約関係図書（契約後提出されたもので拘束力のあるもの）の修得
 - 1）全体工程表の修得
 - 2）施工計画書の修得
 - 3）施工図等の修得

技術検査の実施・書面検査・実地検査及び工事成績評価編

- I 技術検査の実施
 - 1 関連法令等の確認
 - 2 土木工事共通仕様書の規定による細部の確認
 - 3 工程管理は、適切に実施されているか
 - 4 材料管理は、適切に実施されているか
 - 5 品質管理は、適切に実施されているか
 - 6 出来形管理は適切に行われているか
 - 7 工事施工状況は適切に行われているか
 - 8 安全管理は適切に行われているか
 - 9 施工管理は、適切に行われているか
 - 10 環境対策は、適切に行われているか
 - 11 現場作業環境は、適切に行われているか
- II 書面検査
 - 1 契約内容の確認
 - 2 書面による契約図書及び契約関係図書の確認
 - 3 書面による材料関係書類の確認
 - 4 書面による段階確認（営繕工事では一工程の確認）関係の書類の確認
 - 5 書面による品質関係書類の確認
 - 6 書面による出来形関係書類の確認（受注者による確認）
 - 7 書面による工事実施状況関係書類の確認
 - 8 安全管理関係書類の確認
 - 9 環境対策関係書類の確認
 - 10 現場作業環境関係書類の確認
 - 11 書類の整合性及び信頼性
- III 実地検査
 - 1 出来形の検査
 - 2 品質の検査
 - 3 出来ばえの検査
 - 4 検査の可否判定（契約約款第45条（履行遅滞の場合における損害金等））
 - 5 国土交通省における可否の判定
- IV 工事成績評価
 - 1 請負工事成績評価要領に基づく評価
 - 2 工事成績評価の目安
 - 3 工事成績評価実施要領のポイント
 - 4 工事成績評価の活用

（※本講座の「出張講座」も承っておりますので、お問合せください。）

キ.....リ.....ト.....リ.....線..... (3.5)

FAX(06)6441-4319 一般社団法人 日本経営協会・関西本部（原）宛（この面をそのままFAXして下さい。）

NOMA 「土木工事技術検査の具体的な進め方」参加申込書（3430）			2019.10/24～25
（フリガナ） 役 所 名 （団体）			TEL () FAX ()
所 在 地	〒		・お支払い方法 ☐ 銀行振込 （通信欄） ☐ その他 （ ） （該当にレ印をつけてください。） ・参加料 ☐ 会員（1名）29,000円 （※別途消費税がかかります） ☐ 一般（1名）32,000円 所 属 _____ ご連絡担当者 _____
（フリガナ） 参 加 者 氏 名	所属部課・役職名	担当経験年数	
（フリガナ）		年 ヵ月	
（フリガナ）		年 ヵ月	
（フリガナ）		年 ヵ月	
今後、E-mailによる行政管理講座のご案内をご希望の方は、アドレスをご記入ください。⇒ []			

※該当する箇所の口印に✓印をおつけください。 ※経験年数は、現在の部課での担当年数をご記入ください。
 [※ 参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。 ② がご不要の場合は口印にチェックしてください。—— ☐ 不要]
 [① 参加券や請求書の発送などの事務処理 ② セミナーなど本会事業のご案内]